

令和6年度 協力学会説明会について

○目的：医療事故調査・支援センターが行う業務に係る協力をいただいている医療系学会、及び看護系学会（略称：協力学会）を対象に、各年度末に一度、「医療事故調査・支援センター」の事業である、「センター調査」及び「再発防止に向けた提言」の現状と今後の進め方について、報告・意見交換を行う。あわせて、医療事故調査・支援センターとしての日本医療安全調査機構の役割への一層のご理解を得ることにより、「センター調査」及び「再発防止に向けた提言」がより円滑に進められることを目的とする。

○日時：令和7年3月10日（月）15：00～16：30 Webによる開催

○場所：機構内会議室または同ビル貸会議室

〒105-0013 東京都港区浜松町2-8-14 浜松町TSビル

○参加者：（予定）協力学会73学会

○プログラム：（予定）

内容	講師
ご挨拶	門脇 孝 （日本医療安全調査機構 理事長）
医療事故調査・支援センターの現況報告	田原 克志 （日本医療安全調査機構 専務理事）
「センター調査」の現状と課題	矢富 裕 （総合調査委員会 委員長 国際医療福祉大学 大学院長）
「再発防止の提言」の現状と課題	松原 久裕 （再発防止委員会 委員長 千葉大学大学院医学研究院 先端応用外科 教授）
医療事故調査における解剖の重要性について（仮）	木村 壯介 （日本医療安全調査機構 常務理事）
「医療機関内の医療事故の機能的な報告体制の構築のための研究」報告（仮）	宮田 哲郎 （日本医療安全調査機構 常務理事）